【県指定・有形文化財（考古資料）】

中甫洞穴出土品（なかふどうけつしゅつどひん）

（令和２年４月 28 日指定）

○　**所在地**　　知名町教育委員会，和泊町歴史民俗資料館，鹿児島県立埋蔵文化財センター

○　**所有者**　　知名町　和泊町　鹿児島県

○　**特　徴**

中甫洞穴は知名町久志検字水窪に所在し，沖永良部島の西部にある標高 240mの大山を囲んで分布する標高約 100mのドリーネ（すり鉢状のくぼ地）に開口しています。

遺物は，下層から縄文時代早期後半以降の縄文土器，上層から弥生時代～古代並行期の土器，その他石器や貝類，動物骨などが出土しています。類例の少ない土器やそれに伴う石器や牙器，貝器など学術的価値が高く，奄美群島の考古学研究において重要なものです。